

# 福祉保健部健康対策課

## 1 母子保健事業

### (1) 母子健康手帳交付

妊娠届等より交付 1,279 件

### (2) 母子保健推進員活動

母子保健事業の一環として米子市内の助産師等有資格者と委託契約を結び、次のとおり事業を推進した。

#### ア 母子保健推進員 14 名

#### イ 推進員による家庭訪問及び指導

訪問事業名	件数	指導内容	件数
新生児及び乳児指導	1,030 件	母子保健の問題点の把握	2,050 件
妊婦及び産婦指導	1,020 件		

### (3) 妊婦健康診査

妊婦の方に対し、妊婦健診の公費助成を一人あたり、上限 14 回実施した。

#### ア 妊婦一般健康診査

(ア) 受診票交付者数 1,270 人

#### (イ) 受診者数及び受診結果

	受診者数	受診結果	
		異常なし	異常あり
第 1 回目	1,211 人	1,144 人	67 人
第 2～5 回目、第 8～14 回目	11,554 人 (延べ人数)	10,411 人	1,143 人
第 6 回目 (ヒト T 細胞白血病ウイルス (HTLV-1) 抗体検査を含む)	1,172 人	953 人	219 人
第 7 回目 (B 群溶血性レンサ球菌 (GBS) 検査を含む)	1,097 人	943 人	154 人
クラミジア検査 (1 人あたり 1 枚交付、第 1～14 回目のいずれかの受診票と使用)	1,210 人	1,187 人	23 人

※「異常あり」には、妊娠貧血、骨盤位等含む。

#### イ 多胎妊娠妊婦健康診査

多胎妊娠妊婦の方に対し、妊婦健診の公費助成を 5 回追加実施した。

受診票交付数	受診者数 (延べ)	受診結果 (延べ)	
		異常なし	異常あり
31 枚 (17 人)	6 人	5 人	1 人

#### ウ B 型肝炎母子感染防止事業

B 型肝炎ウイルスキャリアの早期発見をし、母子感染を未然に防ぐことに努めた。

受診票交付数	受診者数	陽性者
1,211 人	1,211 人	3 人

#### エ 子宮頸部がん検診(平成 20 年度から実施)

子宮頸部がん検診により、子宮頸部がんの早期発見に努めた。

受診票交付数	受診者数	要精検
1,211 人	1,211 人	30 人

#### (4) 産後健康診査

平成31年4月より産後健康診査の公費助成を一人あたり、上限2回実施した。

ア 受診票交付者数 1,270人

イ 受診者数及び受診結果

	受診者数	受診結果			
		異常なし	経過観察	要精検	要治療
1回目	842人	695人	138人	7人	2人
2回目	1,057人	908人	132人	14人	3人

#### (5) 乳児一般健康診査

3～4か月児及び9～10か月児を対象に乳児一般健康診査受診票を交付し、医療機関に健康診査を委託し実施した。

ア 受診状況

	受診票交付数	受診者
3～4か月児	1,246人	1,211人
9～10か月児	1,298人	1,142人

イ 受診結果

	異常なし	精検	要追跡観察	観察中	助言指導	要治療	治療中
3～4か月児	1,065人	22人	27人	39人	16人	29人	13人
9～10か月児	1,006人	19人	38人	42人	13人	13人	11人

#### (6) 妊婦一般健康診査費用助成金制度

里帰り出産などの理由で、本市に住民票を置いたまま、委託外医療機関又は委託外助産所において妊婦健診を受ける場合に、市の定める助成金を上限として健診費用を助成した。

対象人数	助成金額
95人	2,957,055円

#### (7) 産後健康診査費用助成金制度

里帰り出産などの理由で、本市に住民票を置いたまま、委託外医療機関又は委託外助産所において産後健診を受ける場合に、市の定める助成金を上限として健診費用を助成した。

対象人数	助成金額
91人	385,242円

#### (8) 6か月児健康診査

6か月児を対象に健康診査を行い、心身障がいや先天的な心臓疾患・整形外科的疾患などの早期発見や適切な治療・指導に努め、併せて育児不安の強い母親に対しての育児相談や離乳食・口腔衛生指導を行った。

また、絵本の読み聞かせによる子どもと保護者との触れ合いの促進等を目的にブックスタートを実施した。

ア 受診状況

対象者	受診者	受診率
1,253人	1,229人	98.1%

イ 診断結果

異常なし	精検	要追跡観察	観察中	助言指導	要治療	治療中
695人	16人	99人	140人	224人	11人	44人

必要な者2人に対して6か月児事後健康診査を実施した。

#### (9) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児を対象に軽度の精神発達遅滞や視覚障がいや難聴などの異常を発見し、早期の治療、支援に結びつけた。言語や認知発達など子どもの素因と親からのかかわりなどの環境要因の双方に注目して、広汎性発達障がいや注意欠陥・多動性障がいなど社会性の障がいにつながる状態への早期支援や健康な生活習慣の獲得につながるよう歯科健診、口腔衛生指導、食事相談、育児相談等を行った。また、むし歯予防対策として希望者に対しフッ素塗布を行った。

ア 受診状況

区分	対象者	受診者	受診率
1歳6か月児健康診査	1,305人	1,274人	97.6%
精密健康診査	20人	20人	100%
歯科健康診査	1,305人	1,274人	97.6%
フッ素塗布	1,305人	1,191人	91.3%

イ 診断結果

異常なし	精検	要追跡観察	観察中	助言指導	要治療	治療中
719人	20人	125人	219人	173人	4人	14人

必要な者54人に対して1歳6か月児事後健康診査を実施した。

(10) 3歳児健康診査

幼児期において身体発育及び精神発達の面から最も重要な時期である3歳児に対し、医師、歯科医師による総合的な健康診査を実施し、児童の健全な育成のために指導を行った。また、むし歯予防対策として希望者に対しフッ素塗布を行った。

ア 受診状況

区分	対象者	受診者	受診率
3歳児健康診査	1,283人	1,274人	99.3%
精密健康診査	95人	88人	92.6%
歯科健康診査	1,283人	1,274人	99.3%
フッ素塗布	1,283人	1,155人	90.0%

イ 診断結果

異常なし	精検	要追跡観察	観察中	助言指導	要治療	治療中
620人	95人	341人	50人	147人	0人	21人

必要な者60人に対して3歳児事後健康診査を実施した。

(11) 5歳児よなごっ子健診

発達・社会性・集団の場面での課題がある児童の早期発見・早期支援を開始するための気づきの場となること、児童のより健全な育成のための支援に繋げ、保護者の就学への不安解消、児童への適切な対応や就学に向けての準備となることを目的に実施した。

ア 実施状況

(7) 一次健診

年度中に5歳に到達する全児童を対象とし、保護者へアンケート（SDQ）によるスクリーニング方式

区分	対象者	返送者数	割合
一次健診	1,315人	1,202人	91.4%

保護者の回答を3段階で評価（支援の必要性が「低い」「いくらかある」「ある」）、結果を全保護者に通知した。

区分		人数	割合
支援の必要性	低い	685人	57.0%
	いくらかある	241人	20.0%
	ある (相談希望なし)	152人	12.6%
	ある (相談希望あり)	118人	9.8%
未回答 (専門機関に通院中)		6人	0.5%

(4) 二次健診

一次健診の結果、支援の必要性あり、かつ相談希望がある児童・保護者に対し、医師相談、子育て相談、心理・発達相談、就学に向けての相談を実施した。保護者の希望がある場合は園の保育者も同席した。

区分	実施回数	参加者
二次健診	18回	101人（うち園の同席63人）

事後対応として、巡回相談、発達検査、医療機関紹介等を行い、継続的に支援している。

(12) 健康教育

区分	回数	延人員	備考
母（両）親学級	3回	87人	マタニティースクール。妊婦とその家族に対して妊娠、育児に関する指導を行った。
離乳食	30回	396人	5～6か月児と8～9か月児を対象に実施した。
のびのび親子教室	12回	184人	1歳6か月児健診の事後健診対象児とその保護者を対象に発達を促すための運動・助言・情報交換を行った。
プレマタニティースクール	2回	140人	高校生を対象に、体験・講義を通して、食事・生活指導を行った。

(13) 健康相談

区分	回数	延人員	備考
マタニティ&ベビー相談（来所）	238回	319人	育児に関する相談及び妊婦に対する健康相談を実施した。 月～金曜日
マタニティ&ベビー相談（電話）	238回	422人	
赤ちゃんすくすく相談	11回	640人	育児、栄養、歯科等の相談を実施した。月1回

(14) 家庭訪問

区分	保健師	栄養士	心理士	計
妊婦	39人	1人	0人	40人
産婦	215人	0人	0人	215人
新生児	84人	0人	1人	85人
未熟児	13人	0人	0人	13人
乳児	268人	4人	11人	283人
幼児	135人	3人	14人	152人
その他	9人	0人	2人	11人
計	763人	8人	28人	799人

(15) 来所相談

区分	保健師	栄養士	心理士	計
妊婦	15人	1人	0人	16人
産婦	24人	0人	0人	24人
新生児	1人	0人	0人	1人
未熟児	2人	1人	0人	3人
乳児	42人	16人	6人	64人
幼児	46人	3人	27人	76人
その他	6人	0人	10人	16人
計	136人	21人	43人	200人

(16) 電話相談

区分	保健師	栄養士	心理士	計
妊婦	88人	2人	0人	90人
産婦	80人	0人	0人	80人
新生児	20人	2人	1人	23人
未熟児	11人	0人	0人	11人
乳児	310人	32人	12人	354人
幼児	519人	10人	71人	600人
その他	47人	0人	11人	58人
計	1075人	46人	95人	1,216人

(17) ケース会議

区分	保健師	栄養士	心理士	計
妊婦	10人	0人	0人	10人
産婦	5人	0人	0人	5人
新生児	2人	0人	0人	2人
未熟児	1人	0人	0人	1人
乳児	13人	0人	0人	13人
幼児	34人	0人	1人	35人
その他	2人	0人	0人	2人
計	67人	0人	1人	68人

(18) 歯科衛生委託事業

鳥取県西部歯科医師会に業務委託し、歯科衛生士4名により次のとおり事業を実施した。

ア 1歳6か月児を重点とした歯科検診及び事後措置

イ 乳幼児及びその保護者に必要な保健指導及び予防活動

ウ その他口腔衛生の向上に必要な事業

(19) 不妊治療費助成事業

不妊治療に要した経費の一部を助成することによりその経済的負担の軽減を図り、妊娠及び出産を望む夫婦が安心して子どもを産み育てることができる環境を整備するため、治療費に対する助成を実施した。

区分	件数	助成金額
特定不妊治療	259件	8,745,597円
人工授精	81件	766,134円

(20) 未熟児養育医療費給付事業

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする1歳未満の赤ちゃんに対し、必要な医療の給付を行った。

件数	給付金額
15件	2,972,077円

(21) 産後ケア事業

産後4か月未満で、必要な支援が受けられず強い育児不安のある者に対し、委託産科医療機関等にて実施した。

	利用実績	利用実人数
ショートステイ	32日	9人
デイケア	6日	5人

(22) 産後ヘルプ事業

出産直後の産婦及び多胎で出産した乳児を養育する母親で、家事等の援助を行う者がいない家庭に対し、社団法人米子広域シルバー人材センターから産後ヘルパーを派遣し、産後の生活支援を実施した。

利用申請者	うち利用者	総利用時間
14人	5人	53.5時間

(23) はじめてばこ (neuvox) 事業

食品・生活用品を、赤ちゃんの生まれた希望する家庭に、鳥取県生活協同組合の協力を得て送付した。

件数
915件

(24) 新生児聴覚検査費助成事業

経済的な理由により新生児聴覚検査を受診することが困難な世帯に対し、新生児聴覚検査費の助成を実施した。

件数	給付金額
1件	5,400円

## 2 健康増進事業

令和元年度米子市高齢者保健福祉計画関連実績総括表

事業等名称	令和元年度実績	事業等名称	令和元年度実績	
健康教育 一般健康教育回数	298回	健康診査 米子市健診受診率	13.0%	
重点健康教育回数	48回		胃がん検診受診率	27.6%
健康相談 総合健康相談回数	22回		肺がん検診受診率	19.3%
重点健康相談回数	43回		大腸がん検診受診率	26.7%
訪問指導 訪問指導延べ人数	24人		子宮がん検診受診率	24.1%
			乳がん検診受診率	14.6%
		ふしめ歯科検診受診率	1.8%	

### (1) 健康教育

健康に関する知識の普及や啓発を目的に、保健センター又は地区において医師、保健師、栄養士等により、一般健康教育と病態別等の重点健康教育を開催した。

	開催回数	参加延人員	備考
一般健康教育	298回	6,444人	運動、食生活、心の健康等
重点健康教育	48回	1,111人	病態別（糖尿病、高血圧、心臓病、肥満等）、 歯周疾患、骨粗鬆症、薬の話
計	346回	7,555人	

### (2) 健康診査

米子市健康診査、肺がん検診、胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診及び大腸がん検診の受診券を1枚にまとめ、40歳、45歳、50歳、55歳の節目年齢の者、60歳以上の者、40歳以上の国民健康保険の加入者及び20歳以上の女性に送付した。

※がん検診の精密検査については、令和2年6月1日時点の人数とする。

#### ア 米子市健康診査

市内91の医療機関で7月から12月に実施した。

#### (ア) 受診状況

	米子市健康診査
対象者数	2,030人
受診者数	263人
受診率	13.0%

※ 対象は、40歳以上の生活保護世帯に属する者及び平成31年4月2日以降国保加入者

#### (イ) 受診者内訳

生活保護	227人
その他	36人

#### イ 肝炎ウイルス検査

健康増進法（平成14年法律第103号）に基づき、B型・C型肝炎ウイルス検査を実施した。

年齢階層	受診者数	異常なし	HBs抗原のみ陽性	HCV抗体のみ陽性	HBs・HCV陽性
40～49歳	294人	290人	4人	0人	0人
50～59歳	145人	145人	0人	0人	0人
60～69歳	301人	294人	7人	0人	0人
70歳以上	377人	375人	2人	0人	0人
計	1,117人	1,104人	13人	0人	0人

ウ 胃がん検診

検診車による集団検診及び市内 60 医療機関での個別検診を 7 月から 12 月まで実施した。

(7) 受診状況

区 分		受診者数	
集団検診 (X 線検査)		383 人	
個別検診	X 線検査	250 人	11,799 人
	内視鏡検査	11,549 人	
計		12,182 人	

(4) X線検査結果

区分	受診者数	異常なし	要精密者	精密検査 受診者	精密検査受診結果			
					異常 なし	がんの 疑い	がんで あった者	その他
集団検診	383 人	359 人	24 人	24 人	3 人	0 人	0 人	21 人
個別検診	250 人	214 人	36 人	29 人	5 人	0 人	2 人	22 人
計	633 人	573 人	60 人	53 人	8 人	0 人	2 人	43 人

(7) 内視鏡検査結果

受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
11,549 人	2,315 人	10 人	61 人	9,162 人

エ 子宮がん検診

検診車による集団検診と市内 11 医療機関で 7 月から 1 月に実施した。

(7) 受診状況

区分	受診者数	要精密者数
頸部	7,754 人	147 人
体部	371 人	9 人

※「要精密者数 (頸部)」は、一次「要精密 (1)」+「要精密 (2)」+「判定不能のうち再検を実施しない者」+「判定不能」

(4) 精密検査結果

区分	受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
頸部	99 人	53 人	23 人	1 人	22 人
体部	6 人	4 人	0 人	1 人	1 人

※「NILM」よりがん疑い (異形成) 1 名あり

オ 乳がん検診

マンモグラフィ併用検診の方法で市内 6 医療機関と 2 検診機関 (集団検診) で 7 月から 1 月に実施した。

(7) 受診状況

区分	受診者数	要精密者数
マンモ併用検診	4,049 人	257 人

(4) 精密検査結果

区分	受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
マンモ併用検診	249 人	90 人	0 人	22 人	137 人

カ 肺がん検診

集団検診は、結核健康診断に併せて実施した。個別検診を人間ドックで実施した。

(7) 受診状況

区分	受診者数	X線のみ	X線+喀痰	要精密者数
集団検診	3,394 人	3,293 人	101 人	114 人
個別検診	5,107 人	4,825 人	282 人	275 人
計	8,501 人	8,118 人	383 人	389 人

(イ) 精密検査結果

区分	受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
集団検診	106人	49人	6人	4人	47人
個別検診	257人	120人	2人	5人	130人
計	363人	169人	8人	9人	177人

キ 大腸がん検診

市内90医療機関で7月から12月に実施した。

(ア) 受診状況

受診者数	要精密者数
11,768人	1,256人

(イ) 精密検査結果

受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
962人	299人	0人	41人	622人

ク 肝臓がん対策事業

B型・C型肝炎ウイルス陽性者に対し年一回の定期検査の勧奨を行った。

区分	対象者数
B型肝炎ウイルス陽性者	577人
B型・C型肝炎ウイルス陽性者	5人
C型肝炎ウイルス陽性者	156人

ケ ふしめ歯科検診

40歳、50歳、60歳、70歳のふしめ年齢の者を対象とし、西部歯科医師会委託医療機関で実施した。

対象者	受診者数
8,147人	144人

(3) 健康相談

保健センター、各地区公民館において保健師、看護師、栄養士等による健康相談を実施した。

区分	回数	延人員
総合健康相談	43回	1,026人
重点健康相談	22回	84人
計	65回	1,110人

(4) 訪問指導

要指導者等に対し、保健師、看護師等を訪問させ、本人及び家族に対し必要な保健指導を行い、これらの者に健康の保持、増進を図った。

ア 実施状況

区分別	人員	被訪問指導人員	
		実人員	延人員
要指導者等		24人	24人
うち40～64歳		10人	10人

イ 従事者延人数

保健師	看護師	計
5人	1人	6人

(5) 保健推進員活動事業

市が行う保健事業の円滑な推進と、市民の健康づくりを積極的に取り組むため、米子市地区保健推進員会を設置し、次の事業を行った。

ア 各種健康診査、健康相談等の受診勧奨並びに介助に関すること

イ 保健衛生意識の啓発及び普及並びに各種健康教育の案内に関すること

ウ 健康フェスティバルにて実施予定であった大腸がんクイズラリー、パネル展示を公民館祭で実施

エ 設置状況

27 地区 616 人

(6) 住民組織育成事業

ア 食生活改善地区組織活動

食生活改善推進員を対象に料理講習を行い、各地区公民館において地区住民に伝達を行った。母と子の食生活共同体験事業を実施した。

(7) 食生活改善推進員伝達講習 55 人 (地区住民への伝達: 453 人)

(4) 母と子の食生活共同体験事業 55 人 (地区住民への伝達: 684 人)

イ 食生活改善推進員教育

各校区 2 人ずつ米子市において、1 年間 (7 回) 教育を受け、修了後各地域でボランティア活動を行う。

(7) 教育回数 7 回 (35 時間)

(4) 出席延人数 269 人

(5) 修了者 39 人

(7) フレイル対策モデル事業

令和元年度より、フレイル状態の進行抑制・改善をし健康寿命を延伸することを目的に、永江地区をモデルに開始した。市長寿社会課、尚徳地域包括支援センター、なんぶ幸朋苑と共同実施。

ア フレイルチェック

対象者は、永江地区在住の 64 歳以上の者 (要介護 1~5 の者は除く)

(7) 実施状況

対象者数	実施者数	実施率
981 人	531 人	54.1%

(4) 実施結果

健康	プレフレイル	フレイル
291 人	148 人	92 人
54.8%	27.9%	17.3%

イ 介入支援教室

フレイルチェックの結果、「プレフレイル」「フレイル」該当者を対象とし、10 月から実施。

3 か月 (週 1 回×2 時間) を 1 クールとし、2 クール開催。年齢構成は、いずれも 68 歳~88 歳だった。

※2 クール目を 1 月~3 月で予定していたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、3 月以降中止した。

	プレフレイル	フレイル	計
1 期	8 人	9 人	17 人 (男性 5 人、女性 12 人)
2 期	12 人	10 人	22 人 (男性 7 人、女性 15 人)

3 健康づくり事業

(1) 栄養改善

ア 一般住民を対象に、管理栄養士が生活習慣病予防の調理実習と食事指導を行った。

28 箇所 受講生 543 人

イ 一般住民を対象に、男性のための！健康づくり&クッキング教室を開催した。

高齢化社会を迎え、男性も自分を含め、食事のあり方及び生活習慣病予防の食事について勉強する。

講話 (バランス食、減塩食、糖尿病食等) と調理実習を開催した。

8 回実施 参加延人数 282 人

(2) 健康づくりに関する知識の普及

ゴミ分別収集カレンダー&健康ガイドを環境政策課と合同で作成し全世帯に配布した。

#### 4 一般保健事業

##### (1) 献血推進事業

各事業所、団体等の協力により献血を実施した。(現在、赤十字血液センターの方針として、全血献血(400mL)を主に  
行なっている。

献血方法	献血者数
全血献血(400mL)	2,332人

##### (2) 救急医療対策事業

鳥取県西部医師会が行う急患診療所運営費事業に対し、補助金を交付した。

ア 名称 西部医師会急患診療所

イ 所在地 米子市久米町136 西部医師会館内

ウ 運営主体 (社)鳥取県西部医師会

エ 診療日及び診療時間

休日:76日

日曜日、祝日、12月31日、1月2日~1月3日 午前9時~午後10時

平日夜間:290日

上記以外の日

午後7時~午後10時

オ 受診者数 延 6,900人(内 米子市 5,204人)

##### (3) 公衆浴場助成事業

公衆浴場の存続を図り地域住民の保健衛生の向上のため、公衆浴場確保対策補助金を3事業者に助成した。

##### (4) 休日救急歯科診療等事業費補助事業

ア 鳥取県西部歯科医師会が行う障がい者(児)の歯科診療事業に対し、補助金を交付した。

受診者数 延 447人(内 米子市 330人)

イ 休日救急歯科診療業務を鳥取県西部歯科医師会に、委託実施した。

受診者数 延 1,052人(内 米子市 678人)

##### (5) 健康フェスティバル事業

市民の健康増進への関心の高揚を図るため「米子市ふれあい健康フェスティバル」を開催、各種事業を実施する予定だったが、台風接近のため「絵本を読んで演奏を楽しむ会」のみ開催し、他は中止した。

ア 会場 ふれあいの里

イ 期間 令和元年10月12日(土)(中止)、17日(木)(開催)

ウ 主な事業

子どもの健康週間行事

「絵本を読んで演奏を楽しむ会」

チェロ 小児科医師 原田 友一郎

ピアノ 米子管弦楽団 本田 祐美子

ヴァイオリン 米子管弦楽団 岡野 桃子

絵本の朗読 米子市立図書館司書

##### (6) 自死対策事業

普及啓発活動に取り組み、自死予防の意識の向上を図るため各種事業を実施した。

ア 健康講話による啓発

市民を対象に保健師による講話（31回）延べ729人

市職員を対象としたゲートキーパー研修（1回）67人

イ 自殺予防週間における街頭キャンペーン、啓発用Tシャツを職員着用、各種事業でポケットティッシュ配布

ウ 広報よなごに掲載（年1回）、米子市ホームページに掲載（3月）

エ パンフレットラック設置（保健センター、イオン米子駅前店、米子市立図書館）

オ 成人式配布物に『とっとりSNS相談事業（LINE）』チラシ同封（1,350人）

カ 自死遺族の集い（主催：精神保健福祉センター）

ふれあいの里にて2か月に1回開催

5 感染症予防対策事業

(1) 予防接種

ア こどもの予防接種

予防接種委託医療機関で実施した。

種 別		対象者数	接種者数	種 別		対象者数	接種者数			
ヒブワクチン	1回目	1,229人	1,236人	百日せきジフテリア破傷風混合不活化ポリオワクチン	1期	1回目	1,229人	1,240人		
	2回目	1,229人	1,221人			2回目	1,229人	1,255人		
	3回目	1,229人	1,192人			3回目	1,229人	1,263人		
	4回目	1,286人	1,119人			追加	1,286人	1,219人		
小児用肺炎球菌ワクチン	1回目	1,229人	1,237人	ジフテリア破傷風混合ワクチン	2期		1,275人	817人		
	2回目	1,229人	1,233人	日本脳炎	1期	1回目	1,358人	1,703人		
	3回目	1,229人	1,241人			2回目	1,358人	1,766人		
	4回目	1,286人	1,220人			追加	1,303人	2,040人		
						2期		1,374人	1,232人	
不活化ポリオワクチン	1期	1回目	1,229人	0人	麻しん風しん混合ワクチン	1期		1,299人	1,238人	
		2回目	1,229人	0人		2期		1,287人	1,312人	
		3回目	1,229人	0人	子宮頸がん予防ワクチン	1回目	677人	32人		
		追加	1,286人	5人		2回目	677人	29人		
水痘			1回目	1,299人	1,240人			3回目	677人	19人
			2回目	1,299人	1,083人					
沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン（DPT）	1回目	1,229人	1人	BCG				1,229人	1,260人	
	2回目	1,229人	1人	B型肝炎	1回目	1,229人	1,234人			
	3回目	1,229人	0人		2回目	1,229人	1,243人			
	追加	1,286人	0人		3回目	1,229人	1,196人			

イ 高齢者のインフルエンザ予防接種

予防接種委託医療機関（米子市、境港市、西伯郡、日野郡）で実施した。

対象者	接種者数
42,859人	27,624人

ウ 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種

予防接種委託医療機関（米子市、境港市、西伯郡、日野郡）で実施した。

対象者	接種者数
5,822人	1,432人

エ おとなの風しんワクチン接種

妊娠を希望する女性と妊婦の夫が風しんワクチン（麻しん風しん混合ワクチンを含む。）を接種した場合、接種費用の

全部あるいは一部を助成した。

件数	助成金額
239 件	1,709,627 円

#### オ 風しん追加的対策

昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性(16,743 名)を対象に無料で、風しんの抗体検査・予防接種を実施する。

令和元年度は昭和 47 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性(7,485 名)を対象に無料クーポンを発送した。また、市報などで検査・接種勧奨を行い、クーポン送付対象外の方でも希望者にはクーポンを送付した。

抗体検査	予防接種
1,544 人	381 人

#### (2) 結核健康診断

集団検診として、市内 150 会場で 25 日間にわたり実施し、受診者数は 2,599 人であった。(65 歳以上を計上) うち、精密検査対象者は 21 人で、肺結核者は 0 人であった。

また、人間ドックでの胸部撮影者は 4,222 人であった。

#### (3) 消毒液等散布

大雨等による床下浸水等への対応：なし

### 6 米子市福祉保健総合センター関係

#### (1) 会議室等使用状況

会議室等	使用件数	使用人員
大会議室	94 件	19,244 人
(大会議室ビデオプロジェクター使用)	(0 件)	(0 人)
中会議室	17 件	1,870 人
第一会議室	251 件	6,794 人
第二会議室	251 件	6,851 人
第三会議室	240 件	5,458 人
研修室 1	266 件	5,359 人
研修室 2	308 件	3,467 人
福祉団体活動室	225 件	4,141 人

#### (2) カーゲート運用

ふれあいの里駐車場カーゲートを運用する一般財団法人米子市開発公社へ運営費補助金を交付した。

#### (3) 修繕工事

空調用ポンプ改修工事 918,000 円

本館系空調用ポンプの改修工事を行った。

#### (4) 健康寿命の延伸対策の推進 (平成 31 年 3 月から)

地区保健推進員連絡協議会とともに作成した生活習慣病予防の大切さを啓発する「よなご健康ええがん体操」を実施するなど健康寿命の延伸に向けたさらなる取組みを始めた。また、キャッチフレーズ(「ずっと元気にエンジョイ! よなご」健康寿命の延伸大作戦)及びロゴマークを定め(平成 31 年 3 月)、機運醸成に向けての一助とした。

令和元年 10 月以降での健康寿命の延伸に係る事業をワンペーパーに取りまとめ、市民に向け配布した。